

# 磐田南高通信

第90号  
令和6年3月1日  
静岡県立  
磐田南高等学校



校長 野村 賢一

## 親子に同じ質問をしてみた

「百聞は一見に如かず」の最たるもので恐縮ですが、紙面上にて表題の動画を御紹介させていただきます。離れて暮らす親子に同じ質問をしてみる、という内容です。

Q：どのくらい思い出しますか？

(父) 思い出すというよりもその… メールがきてるかきてないか確認しますので 毎日ですよ  
(娘) 思い出す… 月に… 週に二回くらいです

Q：お互いにもらった思い出のものは？

(父) 「お父さんいつも仕事してくれてありがとう」とか そういう手紙が嬉しかったですね 会社のかばんの中に クリアファイルに大事にいれています  
(娘) 何もなかったかなと思って そのとき欲しかったおもちゃとか買ってもらった だろかなと思います

Q：家を出た時 どう思いましたか？

(母) 引越しの日に家族みんなで大きな車で行ったんですが 帰りは大泣きでした 自分でもなんでこんなになってくらしい(息子) 一生懸命用意してくれたのを覚えています

この不釣り合いな状態は、決して「嘆くべきもの」ではありません。私には二人の息子がいて、彼らは私にとって世界で最も大切な存在ですが、息子たちには、私より大事な人がいるはず。そうでなければ逆に困ります。子どもの幸せを願うなら、愛情の一方通行は、「喜ばしいこと」として受けとめるべき、と考えます。

ちなみに、親の回答VTRを見た子どもたちのリアクションは、次のようなものでした。

◇自分が思っている以上に気にかけてくれたんだと 心に残ったというか 嬉しかったですね

◇いまだに心配してるんだなと思いました 恥ずかしかったです  
◇大事にしなきゃなって思いました

卒業という晴れの日を迎えた三年生に伝えます。巣立っていくまでの、家族と過ごすことのできる残された時間を、慈しんでください。自分が親になった時、少なくとも自分が受けたのと同じくらいの、できればそれを上回る愛情を、我が子に注いでください。

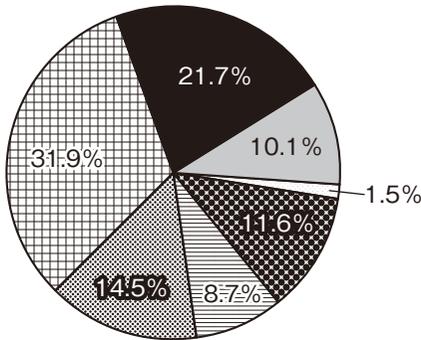
自分のことを心から愛してくれている人がいる、という事実を勇気に変え、この先遭遇するであろう幾多の困難に毅然と立ち向かってくれたなら、本当にうれしく、そして頼もしく思います。皆さんのこれからが、幸福な日々の連続でありますように。

※動画「親子に同じ質問をしてみた」は、YouTube等で御覧いただけます。

卒業後の社会では、急速な情報化社会の進展や多様な価値観の創出により、正解のない問いに直面します。しかしながら日本社会は村社会、個よりも集団を重視する思考は根強く、個性を引き出せと言いつつ出る杭は打たれる難しい社会です。そこでキーワードとなるのが「納得解」ではないでしょうか。正解がないということは不正解もありません。であるならば、決定を下す者が納得できるものであれば結果に関係なく、事は進み、決定に対する言い訳や責任転嫁もありません。高校生には将来社会人となるに当たり、このことを念頭に置いてほしいと思います。

話は変わりますが、教科「保健」担当として磐田南高生の現状に触れます。保健テストは各学期末3回ですが、私は毎テスト後のアンケートで勉強時間を調べています。担当する授業のみの調査ですが、おおむね磐田南高の傾向であると推測できます。「保健のテスト勉強にどれくらいの時間を当てましたか?」の質問に対して、「テスト当日に保健の教科書を見ただけ」21・7%、「テスト勉強はほとんどやっていない」10・1%、「1時間未満」31・9%、「1時間以上2時間未満」14・5%です。データは令和5年2学期のもですが%は毎回大きく変わりません。つまり磐南生の3割は保健テスト勉強をほぼやっていない、逆に2時間以上勉強をしている生徒は多く見積もっても3割に満たないということです。こう記すと「保健」を勉強しなさいメッセージのようですが、今回はそこではなく教師側の視点に触れます。生徒側からすれば、「保健」を受験で必要とする生徒は皆無で、授業も週に1コマ、大学進路に影響を与えるものではありません。アンケートはむしろ生徒たちが正直に答えてくれた結果であり妥当です。教師側からすると生徒にこれは伝えたいのだが生徒のニーズはない「さてどうするか」という戦いをします。教師あるあるの一例です。教科「保健」として高校生に身に付けてほしい力は学習指導要領に示されていますが、これらの力を身に付けてもらうためにどんな

保健のテスト勉強にどれくらいの時間を当てましたか。  
69件の回答



- 5時間以上
- 4時間以上
- 3時間以上
- 2時間以上
- 1時間以上
- 1時間未満
- テスト当日に教科書を見ただけ
- テスト勉強はほとんどやっていない

作戦で戦うのか、正解はありません。話を社会全体に向けても、このような理想と現実の中で社会人（保護者の皆さま）の方々も日々戦っております。そして「納得解」を出しながら社会に貢献していきます。納得解は最終的にはその人の「志」、信念や情熱から導き出されるのではないかと思えます（知識や環境、人脈、資金なども必要ですが）。磐田南高では3年間の学校生活でこれらを育む取組をしてきました。高い「志」を持ち、自ら「決断」し、「挑戦」し続ける（学年目標）。志は信念や情熱であり、ここから「納得解」を導き出し、決断し、生涯に渡り挑戦し続けていけるのではないかと思えます。磐南生がこれからも自信をもって1人1人の納得解を導き出し、新たな進路を切り開いていくことを期待いたします。

（榎本好孝）

# 現地でないことがわからないうこと

## 第二学年

今年度の修学旅行のコース概要が、添乗業者各社様によるプレゼン・コンペを経て学年会議で決まったのは、一年以上前の令和四年七月でした。新型コロナウイルスの再流行等を考慮して沖縄コースを外し、北海道コース四クラスと九州コース四クラスで企画しました。北海道コースは箱館〜札幌を中心に有珠山や洞爺湖まで行くAコースと、札幌を中心に旭川方面に行くBコースで、比較的オーソドックスなコースでした。一方、九州コースは、これまで定番としてきた長崎を外し、九州Aは北九州〜大分方面、九州Bは鹿児島〜熊本方面を中心にしたコースになりました。また、各コースとも半日から一日の班別研修を入れました。今年度に入ってから、各コース長の先生を中心に各クラスで旅程の修正を重ね、生徒の意向をより多く採り入れたコースになりました。修学旅行一か月ほど前にインフルエンザ流行による学級閉鎖などもありましたが、参加予定者は全員修学旅行に参加できました。

私が同行した北海道Bコースは、旭山動物園にも行きました。旭山動物園は行動展示の先駆けとして有名ですが、実際に見ると、行動展示よりも動物との距離の近さに驚かされます。金網越しやアクリル板越しに至近距離にいる動物が多く、ズームなしに写真も撮れます。また、動物も人から観られるのに慣れていて、積極的に動いていた。こちらをじっと見てきたりする動物も多くいました。動物園の規模は比較的小さく、特に珍しい動物もない上、行動展示は全国の動物園にも広がっていて希少性が薄れています。しかし、旭山動物園には実際に行かないとわからない、他の動物園にはまだない先進性があると思えました。

最終日は北海道の原生林の中、川に沿っ



て作られている道路をバスで抜けました。原生林の中を流れる川と並行して、道路と根室線が通っています。景色に何か違和感があるなと思ったのですが、しばらくして川に堤防がないことに気が付きました。静岡では減多に見られなくなった、地図を見ただけではわからない、まさに大自然の景色でした。そこを貫く単線の鉄道は、自然と格闘した先人の苦勞を偲ばせました。

修学旅行期間を通じて、北海道で一部雪は降りましたが概ね好天に恵まれ、生徒は旅行を満喫したと思います。ホテルで夜更かしして話し込んでいた生徒もいたようで、訪問地とともに良い思い出になったものと思います。インフレで受注時よりコストが上がる中、今回の素晴らしい修学旅行を御用意いただいた添乗業者様をはじめ、本校のコース長の先生方、引率の先生方、誠にありがとうございました。

さて、旅行三日目の夜に11月進研模試の結果がデータ公開されました。スマホで結果を見ている生徒も多く、さすが磐南生だと思えました。修学旅行が終わり、いよいよ受験勉強の始まりです。受験勉強とその成果で、修学旅行以上の最高の思い出を作ってもらいたいと思います。

(須山功豊)

一年生の生徒諸君、磐田南高校での一年間は どうでしたか？

磐田南高校の一番の「売り」は何でしょう。真新しい校舎も目を引きませんが、私はそれよりも磐南がこれまで培ってきた伝統と、そこに集う生徒や先生方であると確信しています。昨年度創立百周年を迎えた磐南は、長きにわたって地域や社会を支える人材を輩出し、憧れをもって選ばれる学校として歴史を刻んできました。一年前の君たち自身を思い出してみてください。きつと強い憧れと誇らしさをもって入学したことでしょう。そして、真新しい校舎で出会った学友たちからは、自分の想像を超えるような多くの刺激をもらったはず。時として、それによって自分の自信が揺らいだり落ち込んだりするような経験もあったかもしれません。でも、一年が過ぎた今、その当時とはものの見方が変わった自分があるはず。です。

学校では、日々新しいことを学び、新しいことを知っていきます。しかし、ただ知識を増やしていくことが「知る」ということではありません。何かを「知る」ということは、今まで持っていた自分の考えや概念が崩れ、新たな概念を獲得することであり、それによって自分が変化することです。

例えば、中学では勉強ができていたが、磐南に来てスゴイ友人に出会って自信を無くすことも「知る」ということ。でも、その友人も実は自信が無くそれを埋めようとしてすごく努力をしていたことを「知る」。そして、自分にはそうした努力が足りていなかったと知って、もし自分を変えて努力を始めたならば、初めて何か一つの事を「知った」ことになるでしょう。

例えば日々の授業にしても、新しい知識を身に付けたことが「知る」ということではありません。何の変哲もない道端の石ころの種類が判別できたら、自分の立っている大地が実は大昔海の底だったことが分かる。これまで「これで全てだ」と思っていた実数が、複素数という平面の中ではたった一本の数直線上の数に過ぎなかつ

たことを知る。今までの自分の概念が壊れ、新たなものの見方を見出すことが「知る」という第一歩で、そうした刺激を受けながら日々自分自身が変化していくのです。

磐南の長い伝統が、多くの刺激をくれる仲間を集め、その環境を作ってきました。そして君たち自身も今やその環境の一部であり、その環境の作り手でもあります。

磐南に入学した価値は、諸君の向上心にこそあります。一人ひとりが自分の持つ能力を最大限に発揮することを目指す。その姿が、きつと周りの人への刺激となり、その人がまた自分の力を引き出していく。そういう環境にいることこそが磐田南高校に入学した価値だということです。一年生諸君には、あと二年間、その環境を守り育ててもらいたい。そしてさらに刺激的な磐南を作っていきます。

(平野成宜)



創立百周年の節目に校舎は立て替えられ、今年度より新しい校舎での生活が始まりました。モダンな建物での生活は如何だったでしょうか。

4月当初は口の字の回廊に方向感覚が麻痺し、一体自分はどこの方角に向かって歩いているのか分からなくなる感覚がありました。どの廊下を歩いても同じような白い壁が続き、目立った標識や掲示物もなく、特徴的な教室や空間もないため、自分の位置関係を理解するのに苦労した人も多かったのではないのでしょうか。フロア毎の特徴にも違いがなく、今、何階にいるのかさえ分からなくなってしまう、そんな印象でしたが、次第にこの校舎の魅力に気づき始めます。

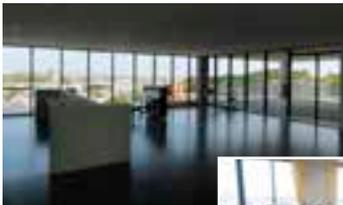
まずは、「コモンテラス」。この校舎の最大の特徴と断言していいでしょう。校舎中央に位置する多目的広場です。用途は様々、主に部活動や学校行事などで利用されてきました。各フロアの廊下からそれを見下ろすことができ、まさに劇場のようです。生徒の個性を発揮する場として、また、生徒相互の交流の場として今後益々の活用が期待されます。

二つ目は、各フロア南東角のロビーから眺める今之浦の景色です。今之浦は、奈良時代に天皇と遠江国司との間に交わされた歌に詠まれたほど風光明媚な場所であり、その景色から永く受け継がれてきたこの地で学ぶことの尊さを感じさせます。日々刻々と変化する美しい景色を眺め、心が癒されたり気持ちの切り替えができた生徒も多かったのではないのでしょうか。

一方、HR教室はそれとは対照的なつくりとなっています。廊下側の壁は外景が眺められるような大きな窓ガラスはなく、授業に集中して取り組むことができる配慮がなされています。個人ロッカーや清掃用具入れは教室後方の壁に埋め込まれ、教室は無駄が無くすつきりとしています。ICT環境も整えられ、アクティブラーニングの実践に適した空間づくりとなっています。



コモンテラス



図書室は1階中央に配置されました。動線に配慮した利用しやすい場所に設けられ、多くの生徒が本の閲覧や自習室として利用しました。床は少し低くなっており、空間にゆとりを持たせる工夫が施されています。また、正面玄関前には広々とした生徒ホールが広がっており、集会や部活動の発表などで利用されました。多くの生徒が行き交うこの場所で、コミュニティの輪が広がってゆくことでしょう。その奥には「今之浦テラス」が広がり、今之浦から注がれる心地よい光がホールを包みます。

新校舎は、開放感のある空間と、授業に集中できる空間とが共存し、メリハリのある学校生活を送れる、そんな建物だと思います。百周年を迎えたこの地でまた新たな1ページが刻まれていくことを期待します。

(鈴木智久)

磐田南高校に赴任して10年が経ちます。この間はコロナ禍、100周年行事、新校舎建替え、引越しと大きな変革を迎えた時期でもありました。忙しい日々の中、立ち止まって生徒の事を振り返るとこんなことを思います。

磐田南高校生、通称「バンナン生」は忙しい。勉強・部活動・学校行事に全力を注ぎます。「二兎を追うものは一兎をも得ず」という、ことわざよりも更に上をいき、少なくとも三兎を追う。そのような姿勢も見受けられます。それ故に「バンナン生」は忙しい。

そんな中、あいさつもそれなりにするし、服装もそれなりにしているが、完璧には程遠い部分もあります。大人になりゆく過程で社会へ目を向け、社会の一員として羽ばたく人間としてはまだ物足りないと言えるでしょう。若い時だからこそ習得できるもの、学校という集団生活の中で身につくものも多くあるはずです。人と人との繋がりで得る友情や気遣い、学校行事を通して学ぶ、行動力や発想力などもあるでしょう。

現在の大学入試で求められているものは点数や偏差値が未だにその多くを占めています。服装や礼儀正しさ、人間力を求められている部分は少ないでしょう。だからこそ動機づけは難しいと思います。しかしいつの時代であっても社会のなかで最も評価されるのは、物事に主体的に取り組む人間力・礼儀・あいさつや服装など「遅しさ」や「美しさ」が含まれています。

忙しい磐田南高校生も時には立ち止まり、振り返り、様々なことを考えてほしいと思います。大学受験の向こうにある「一流の人間」「美しい生き方」「影響力のあるリーダーシップ」などについても思いを馳せてもらいたいと思います。磐田南高校生にはその素養があり、職員だけでなく地域からも期待されている部分が多くあるからです。

全国有数の進学校の生徒は心構えも一流であり、中には「ノブレス・オブリージュ」(高貴なるものに伴う義務)という言葉掲

げ「能力のある者はその能力を社会に還元すべきだ」という大きな志を持った生徒もいます。自分の事だけでなく、社会をよりよくするためや他者への気遣いなど、本校の生徒も見習うべき部分が多くあるはずです。

世界的な観点では、「環境問題」「紛争」「貧困」など大きな課題も山積みです。国連のサミットでは「SDGs」(持続可能な開発目標)を掲げられ、二〇三〇年に向けて世界の国々が積極的に取り組んでいます。今の高校生が正に社会へ羽ばたくとき、磐田南高校生はきつとその責務を果たす人材へと変わるでしょう。

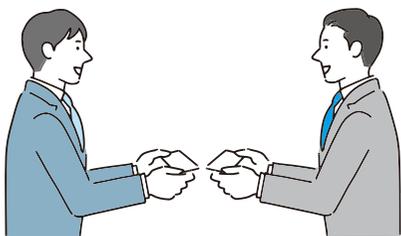
目の前の受験に必要なのは確かに学力ではあるけれど、その先の社会に出る準備としての人間力も高めていくことこそが、進学校にしかできない生徒指導であると考えます。

先日、教子である大学生と再会しました。

「先生、ご無沙汰しております。」久しぶりに会う笑顔と挨拶に清々しさを感じ、在学中は挨拶がこんなにできたかな?と思えました。「就職が決まりました。社会に出て頑張ります。」社会に出ていく姿に遅しさを感じました。

今の「磐南生」の少し先の姿を垣間見ることができ嬉しくなりました。

(匂坂真也)



## 本校の進路状況・

### 進路指導について

#### 進路課

去る一月一三日、一四日に、大学入試共通テストが実施されました。本校は275名の3年生が浜松北高校をメイン会場に共通テストに臨みました。全国的な動きとしては、センター試験を合わせ、志願者が三十二年ぶりに五十万人を割ったということ、少子化の波がやってきていることを実感します。また、一月一日に発生した令和六年能登半島地震の被害により、北陸を中心に多くの高校生が影響を受けたことも、今年の共通テストでは忘れられない出来事となりました。北陸地方の早期の復興を願っています。一月一四日には火災による東海道線の遅延があり、本校の受験生も多少の影響は受けましたが、無事、全員受験することができました。

大学入試センターの中間発表によると、各科目とも昨年度との差は100点満点換算で約5点程度のプラスマイナスとなり、比較的出題は安定していたと言えます。また、予備校等の分析によると、文系5教科8科目、理系5教科7科目の合計平均点は、文系は4点、理系も8点程度、昨年よりプラスになりそうだということです。出題内容に関しては、難易度はおおよそ変わらないものの、各教科とも読む量・単語量・考えなければならぬ時間が増加し、受験生にとっては解きにくさを感じる傾向が強まっているように思います。

本校の自己採点の結果をみると、各教科の点数、文理の合計点とも、全国平均に対して1・1倍から1・2倍の得点率となり、例年通りの結果となりました。

さて、本年度は、旧教育課程入試の最終年度となるため、年度当初より、全国的に安全志向になるのではないかとという予想が出ていました。しかし、蓋を開けてみると、全国的にも本校の3年生も、特に安全志向といえるような動きは見られていません。

本稿執筆時点では、出願大学まで決定しています。本年度の出願状況です。国公立大学の前期日程の出願者は235名（国立1

85名、公立50名）でした。以下延べ人数になります。旧帝国大学への出願者は57名、国公立医学部出願者は17名・歯学部1名です。また、県内大学への出願状況は静岡大学86名、浜松医科大学12名、静岡文化芸術大学11名、静岡県立大学27名です。県内合計は136名となりました。

今後は、私立大学の一般入試にチャレンジし、二月二五日からは、国公立大学前期試験がはじまります。多くの生徒は卒業式後の三月中旬以降に合格発表を迎え、進路が決定していくことになりま。朗報を期待しています。

さて、来年度以降の大学入試に関してもお伝えします、令和7年度入試（新3年生が受験する入試）から、新教育課程の入試が始まります。ここでは科目「情報」が追加されることが注目されていますが、国語・数学②の時間が10分増加したり、地歴・公民科の科目名・内容が変更されたりと、多くの変更点があります。受験生自身が仕組みを理解しておくことは当然のこと、我々教員も制度の理解、それに向けた対応も必要になります。今後も生徒一人一人の進路実現が果たせるよう、生徒に寄り添う進路指導を継続していきたいと思っています。

（島崎和彦）



**過去5年間のセンター試験**  
 (～令和2年度)・大学入学共通テスト(令和3年度～)  
**科目別平均点**

教科	科目	令和2年度		令和3年度 (共通テスト)*		令和4年度 (共通テスト)		令和5年度 (共通テスト)*		令和6年度(共通テスト)			
		全国	本校	全国	本校	全国	本校	全国	本校	全国	昨年比	本校	昨年比
国語	国語	119.3	143.0	117.5	137.1	110.3	128.3	105.7	126.9	116.5	10.8	138.8	11.9
地歴	世界史B	63.0	73.1	63.5	75.6	65.8	72.8	58.4	70.4	56.3	-2.2	65.0	-5.4
	日本史B	65.5	75.3	64.3	69.9	54.9	63.5	59.8	65.8	60.3	0.5	71.4	5.6
	地理B	66.4	70.7	60.1	65.5	61.2	65.5	60.5	67.5	65.7	5.3	74.3	6.8
公民	倫理	57.3	63.1	58.4	66.7	60.8	65.5	59.5	65.2	56.4	-3.0	55.9	-9.3
	現代社会	65.4	74.7	72.0	79.7	63.3	65.7	59.0	66.2	55.9	-3.1	61.8	-4.4
	倫理・政経	66.5	68.6	69.3	69.9	69.7	67.5	60.6	61.5	61.3	0.7	61.0	-0.5
数学	数ⅠA	51.9	58.0	57.7	66.6	38.0	45.2	55.7	65.4	51.4	-4.3	60.4	-5.0
	数ⅡB	49.0	54.9	59.9	68.7	43.1	48.6	61.5	70.2	57.7	-3.7	65.7	-4.5
理科	物理	60.7	66.2	62.4	69.2	60.7	69.6	63.4	76.0	63.0	-0.4	76.2	0.2
	化学	54.8	70.2	57.6	67.3	47.6	61.3	54.0	67.8	54.8	0.8	65.1	-2.7
	生物	57.6	73.3	72.6	81.6	48.8	61.1	48.5	59.8	54.8	6.4	63.1	3.3
	化学基礎	28.2	38.0	24.7	30.7	27.7	34.3	29.4	36.6	27.3	-2.1	30.8	-5.8
	生物基礎	32.1	38.3	29.2	33.7	23.9	28.5	24.7	29.9	31.6	6.9	37.1	7.2
	地学基礎	27.0	35.3	33.5	38.9	35.5	42.8	35.0	41.6	35.6	0.5	41.2	-0.4
外国語**	リーディング	58.2	70.9	58.8	70.3	61.8	74.6	53.8	68.9	51.5	-2.3	65.6	-3.3
	リスニング	57.6	68.2	56.2	68.6	59.5	71.5	62.4	75.8	67.2	4.9	78.8	3.0

\* 令和3年度および令和5年度は得点調整後の値

\*\* 共通テストでは、リーディングおよびリスニングの満点は各100点

センター試験では、リーディング200点、リスニング50点をそれぞれ100点満点に換算した値

## 「頼まれたことは、試されたこと」

### 保健課

仕事を頼まれたときには、自分自身が試されているということ。頼まれた仕事を、嫌々やるのか、ただ単にこなすのか、積極的に取り組むのか。仕事を頼まれなくなったら、頼りにされていないということ。この一年も本校生徒の素晴らしさを感じることがありました。

令和五年三月中旬に行われた新校舎への引っ越し作業において、現二・三年生の姿は素晴らしかったです。教室の机やイスの移動には、現二・三年生の全てが生徒が関わりました。その他に、委員会や部活動ごとに任された仕事がありました。頼まれた仕事を、快く引き受け、一生懸命にやり遂げてくれました。引っ越し作業として、保健委員会では、旧校舎のトイレの封鎖と新校舎のトイレの準備を行いました。旧校舎に設置されていたトイレトペーパーやハンドソープ、ゴミ箱を回収し、新校舎のトイレへ配置してくれました。厚生委員会では、旧校舎で使用していた清掃用具の廃棄作業と引っ越し作業、新規購入した清掃用具の新校舎への配置を行いました。各教室の清掃ロッカーに、指定された用具を確実に配置してくれました。どちらの委員会も大量の物品移動を行うため、計画的な行動が求められました。四月から新校舎での生活が無事にスタートできたのは、このような生徒たちの活躍があったからです。

各学年一回ずつ行われた除草作業においても、生徒の積極性が見られました。五月に三年生、七月に二年生、九月に一年生がグラウンドの北側と西側の除草作業を行いました。やらされてやっているような生徒はおらず、汗だくになりながら草刈りをしていました。本校では、自分たちの学習環境は自分たちで整備する、「労作教育」の方針が開校当初から受け継がれています。声高に「労作教育」の重要性を叫ばずとも、自然と行動に移せる本校生徒の姿には、感心させられます。

(嶋田英雄)

## マウンテンビュー高校との交流

### 4年ぶりに再開

### 研修課

1992年に始まったマウンテンビュー高校（以下、MV高校）との姉妹校提携は、今年で31年目を迎えました。新型コロナウイルス感染症の影響で中断していた交流も、4年ぶりに再開し、4月には新校舎最初のゲストとして、MV高校生24名と5名の引率者を迎えました。

4月11日（火）の歓迎会から始まり、アメリカのスポーツやLGBTQ+に関する発表、全校集会でのパフォーマンス、ホストファミリーとの遠足等、多くの時間を磐田南高校の生徒やホストファミリーをしてくれた生徒のご家庭で過ごし、仲を深めました。磐田での滞在は5日間と短いものの、磐田を離れる際には、涙を流しながらお互いに別れを惜しむ姿が見られました。海を越えた先に住む、簡単には会えない新たな友人との出会いは、自分の視野を広げたり、新たな目標や夢を与えてくれたりする存在となります。ぜひこの一期一会を大事に、一生の友達として、これからもその縁を大切にしていってほしいと思います。

今年度は5年ぶりに、磐田南高校からMV高校に生徒を派遣します。派遣される生徒26名、引率教員5名は、2024年3月21日（木）から31日（日）の行程で、大勢のMV生を相手に文化紹介を行ったり、武道や歌のパフォーマンスを行ったりします。マウンテンビュー高校に滞在する1週間の間には、また多くの新たな出会いがあることでしょう。派遣される生徒は、個人の経験として終わらせるのではなく、学校の代表としての自覚を持ち、帰国後にはその経験を多くの生徒に還元できるように、全力で研修に臨んでもらえたらと思います。

(山田愛理)

## 新図書館

### 図書課

新図書館は4月に開館できましたが、大量のダンボールがカウンターの後ろに積まれたままの状態でのスタートでした。夏休み中にすべて片付け、2学期から漸くすっきりとした図書館になりました。

図書館が新しくなることに合わせてシステムも新しくしました。(株)ソフテックの図書管理システム「ライブマックス」を採用し、静岡県の県立高校で初めて、いつでもどこでもスマホやタブレットで蔵書検索できるシステム「ライブファインダー」も採用しました。学校ホームページトップ画面の重要連絡「新しい図書館」をクリックすると<https://www.lib-finder.net/bannanhs/>というURLが表示されますので、これをまたクリックすると磐田南高等学校図書館のページになります。できればスマホ画面にショートカットを作って、お知らせを読んだり、どのような本があるのか検索したりして頂ければと思います。

さらに、図書委員会が年に三回紙で発行していた「Library News」をPDF化することで生徒だけではなく、保護者の皆様にもご覧いただけるようになりました。しかもカラーで。「Library News」は7月、11月、2月の発行です。毎月上旬には新規購入本の紹介をしていますし、図書館内の様子を撮影したトップページの写真も司書の方がこまめにアップして下さっています。

また、国語科の協力を得て行っている静岡県青少年読書感想文コンクールは、3年ぶりに県で入賞し、16HRの生方優衣さんが静岡県高等学校図書館研究会長賞を受賞しました。

(芳野博之)



## 理数科の取り組み

### 理数科

今年度は、「四年ぶり」の言葉に象徴される通り、感染症に留意しつつも、これまで中止だった活動も再開することができました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

二年生は、一年半を費やして理数探究に取り組みました。4人前後のグループで決めたテーマについて研究を続け、九月の中間発表会や二月の本発表会で研究の成果をプレゼン発表しました。仮説を立てて実験・考察を繰り返し、研究を進めていきますが、なかなか思うような実験結果を得ることは難しく、軌道修正もしながら試行錯誤して取り組みました。そのプロセスを経験する中で、問題を解決する力や意欲、粘り強さを養うことができました。本発表会の審査では、静岡理工科大学の先生方のご指導もいただきました。

一年生の取り組みとして、高大等連携講座・企業見学については、静岡大学・静岡理工科大学・浜松ホトニクスにご協力いただき、夏休みを中心に実施をしました。大学や企業に向いて先生や研究者の話や実習を経験し、研究の一端を目にすることができ、新たな知見や思いを得ることができたかと思えます。

その他、科学の甲子園県予選の出場、理数科卒業生と語る会、中学生への科学教室の実施、各種科学系コンテストの参加等を行いました。

今年度も、理数科の生徒が、様々な場面で活躍しました。そのひとつひとつの経験が今後の糧になることを願っています。

(中西亜希)



プログラミングによって問題を解くコンテンツに日頃から取り組んでいる人を競技プログラマーといえます。令和五年十一月一日にAtCoder社は、競技プログラマー就職企業人気ランキングを発表しました。それによると、Googleやトヨタ自動車に代表されるような大企業がランクインする中で、学生競技プログラマー部門の八位にPreferred Network社(社会人競技プログラマー部門五位)が、十四位(同六位)にALGO ARTIS社がランクインしています。それぞれ、二〇一四年、二〇二一年創業のスタートアップ企業で、人手不足問題など、企業が抱える問題に対しIT技術などを駆使した問題解決や最適化を目指している企業です。競技プログラミングに取り組んでいる学生は、相対的に高い学力を有しているといわれています。それらの学生が就職先としてスタートアップ企業を考えていることとなります。このことは、技術を磨き自分の腕で身を立てていこうという意思表示に思えます。頼もしい若年層が出てきていることを感じさせてくれます。

本校に目を向けても、日本情報オリンピック一次予選を通過した一年生は七名いました。しかも、全員一度の予選参加で一次予選を通過することができました。また、昨年は通過できなかった二年生(文系の生徒)も成長し、一次予選を通過しました。さらに、AtCoder Junior Leagueに取り組んでいる生徒もあります。AtCoder レートで茶色コーダーになっている生徒も二人います。他にも頼もしい生徒が多く育っていることを感じる一年でした。

(永田篤史)

今年度は新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことにより、少しずつではありますが、通常の活動が再開し始めた一年となりました。

### (1) PTA活動

第一回理事会は、全理事に出席依頼をし、その40%の33名の方が出席しました。PTA総会は、新田会長・副会長・新常任委員の計16名及び、全ての保護者に出席依頼をし、欠席の方には委任同意書を提出していただきました。正に4年ぶりの通常開催となりました。また、授業参観の後に総会を設定したため、高い出席率となりました。

### (2) 防災関係(避難訓練・防災教育)

5月10日(水)に避難訓練を行いました。全クラスが、一次避難場所であるグラウンドに避難行動を取りました。新校舎からの移動は初めての事であり避難経路の確認をすることができました。

10月9日(水)には学年別で防災教育を行いました。磐田市消防署の職員の方の御指導で、一、三年生は煙体験、二年生は水消火器による消火訓練を行いました。消防署の方による指導ということと、体験型の実施訓練だったこともあり、生徒にとっては大変有意義な時間となりました。

12月3日(日)、各自自治体の自主防災組織が、防災訓練を予定していました。生徒には、積極的な参加を呼び掛けましたが、当日、フィリピン沖で発生した地震の影響により津波警報が発令されており、ほとんどの自治体で訓練を中止しました。来年度は、可能な限り実践的な訓練に参加するように指導をしたいと考えています。御家庭でも、呼び掛けをよろしく願います。

(高橋宏典)



## 磐田南高校PTA活動報告

令和五年度のPTA活動を振り返って

今年度の活動は、新型コロナウイルス感染症が五月に五類に移行したことから、四年振りに実施できたことが多い一年となりました。

六月のPTA総会は、全学年の保護者に参加いただく通常開催の形で実施でき、八月に仙台で行われた高P連の全国大会には、現地参加することが出来ました。

また、新校舎にて初めての開催となったはぐま祭は、二年生のHR展が復活し盛況に行われましたが、保護者のコミュニケーションの場となるPTAカフェは、新校舎での場所の確保の問題などから、残念ながら四年連続で中止となりました。コロナ禍前には多くの保護者の方にご協力いただいていたと聞いておりますので、来年度以降に再開できる場合には、ぜひ多くの皆様のご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、教職員の皆様の生徒への熱心なご指導とPTA活動への多大なご尽力、及び、保護者の皆様のサポートに感謝いたします。

PTA会長 萩原 幸



### 第一学年学年別保護者会（10月10日（火））

一学年学年委員長 吉筋 達也

全体会では、「学年概況・文理選択・修学旅行」の説明とベネッセ講師から「大学入試動向とスタサポ結果報告」がありました。一年生は、磐南に入学し学力を伸ばしているとの報告があり、生徒の努力を支え、ご指導くださる先生方々に感謝申し上げます。また、もう一伸びさせる学習時間向上のアドバイスもあり、家庭での取り組みの参考となりました。

HR懇談会では、担任の先生から「文理選択の科目選択と志望校選定」について、具体的な説明がありました。子ども任せにせず、家庭でも話し合い確認が必要だと思いました。



### 第二学年学年別保護者会（10月11日（水））

二学年委員長 鈴木 崇浩

学年全体会やHR保護者会が行われ、学年の概況説明や修学旅行の説明がありました。

学年テーマ「着眼対局、着手小局」のもと、「ミニ大学」や「ミニ探求」を進め、自分の進むべき方向を見定めて目の前のことに

生懸命取り組む生徒が増えているとのことでした。来年度の重点「手段を磨く」に向けて家庭でも支えていきたいと思われました。

修学旅行の説明では、目的や注意事項がよく分かりました。企画・準備を進めてくださる先生方や旅行会社の方に感謝の気持ちでいっぱいです。すてきな思い出をたくさん持ち帰ってくれることと思えました。

### 交通安全街頭指導（5月19日（金）10月20日（金））

生活委員長 匂坂 朱美

五月と十月の通学時間帯に、西門、国府台整形外科前、ろうきん磐田支店前で交通安全街頭指導を行いました。

十月に実施した際には、旧校舎解体工事に伴い、数日前に登校経路が変更されたばかりでしたが、生徒たちはルールを守りスムーズに登校していました。



活動を通じて、生徒たちが日頃から交通安全に気を配っている様子がわかりました。また、登校中の生徒に挨拶をすると、気持ちの良い挨拶が返ってきて、とても清々しい気持ちになりました。生徒の皆さんが、今後も安全に登下校できることを願っています。

### 学校保健委員会（12月7日（木））

保健委員長 山崎 恭子

全校生徒対象の健康教育講座は、「高校生のための睡眠学」、1年生対象の薬学講座は、「薬物乱用防止・医薬品の正しい使い方について」、2年生対象の食育講座は、「自分の健康は自分の力で！よく食べよく寝て充実した学校生活を〜」でした。生徒の感想では、「睡眠の仕組みや体と与える影響についてよく分かった。」や「薬の大量摂取や違法ドラッグの危険性について知ることができた。」などがありました。

保健だよりは、保健実行委員会に所属する生徒達が毎月作成しています。保護者の皆様にも目を通して頂き、心身の健康への意識を高めて頂ければと思います。



# 本年度の主な部活動の結果報告

☆全国大会 ◎東海大会 ○県大会

## サッカー

高校総体西部大会  
予選リーグ  
2-0 浜松商業  
2-1 浜松湖北  
5-0 浜松江之島  
0-2 浜松工業

決勝トーナメント  
0-2 浜松工業  
1-2 御殿場南  
1-2 小笠  
4-3 浜松日体  
1-1 袋井商業  
0-4 浜松工業  
4-1 浜松城北工業

○県選手権大会  
1回戦  
2回戦  
3回戦  
U-18 リーグ戦

○新人戦県大会  
1回戦  
0-3 沼津東

## 女子バレー

高校総体西部大会  
1回戦  
2-0 浜松大平台  
0-2 西遠女子  
9-12位順位決定戦  
0-2 浜松市立

○選手権静岡県予選  
95-51 相良  
49-71 静岡  
75-101 常楽大菊川  
74-96 浜北西  
69-84 掛川西  
70-101 常楽大菊川  
西部地区2部C

○新人戦県大会  
1回戦  
0-2 袋井商業  
1回戦  
0-2 小山

○新人戦県大会  
1回戦  
0-2 袋井商業

## 卓球

高校総体西部大会  
男子シングルス  
馬淵 藍瑠〔36〕 ベスト32  
堀 達幸〔12〕 ベスト32  
平野 晴琉〔11〕 ベスト64  
0-3 浜松大平台  
1-3 浜松市立

9位決定戦  
1回戦  
2回戦  
3回戦  
3-2 磐田西  
3-2 浜松南  
0-3 湖西  
0-3 湖西  
10位で県大会  
大杉 麗〔33〕 ベスト64  
高柳 結〔31〕 ベスト64

○選手権静岡県予選  
1回戦  
2回戦  
3回戦  
3-1 焼津中央  
3-1 焼津中央

○新人戦県大会  
1回戦  
2回戦  
3回戦  
3-1 焼津中央  
3-1 焼津中央

## 野球

○全国高校野球選手権大会静岡大会  
1回戦  
2回戦  
3回戦  
7-14 オイスカ浜松国際  
10-0 熱海・佐久間  
6-8 浜松工業

○秋季高校野球静岡県大会  
1回戦  
0-5 沼津東



★印は令和6年度全国高校総合文化祭出場  
 ○第41回よみうり写真大賞  
 入選 湿美 瑠那〔14〕  
 佳作 中川 真緒〔26〕 猪股 桜子〔16〕  
 齊藤 藍子〔18〕

**吹奏楽**

県吹奏楽コンクール西部地区大会  
 B編成 金賞  
 ○県吹奏楽コンクール  
 B編成 銅賞  
 県管打器アンサンブルコンテスト西部地区大会  
 打楽器五重奏 銀賞  
 サクソフォン四重奏 銀賞

**地学**

☆全国高等学校総合文化祭 自然科学部門 優秀賞  
 宇都宮 耀〔38〕 馬淵 彩花〔38〕  
 鈴木 仁緒〔21〕  
 ☆日本地球惑星科学連合高校生ポスターセッション  
 軽石班 馬淵 彩花〔38〕 佳作  
 宇都宮 耀〔38〕 吉田和佳奈〔38〕

○生徒理科発表会(県大会)  
 固体地球班 最優秀賞  
 五十嵐佑登〔27〕 沖 陸正〔25〕  
 川島 瑛斗〔25〕 鈴木 悠羅〔28〕  
 西垣 帆高〔26〕 内田 維葵〔16〕  
 高田 洋綺〔15〕 吉岡佑之助〔18〕

↓令和6年度全国高等学校総合文化祭出場  
 生徒理科発表会(西部大会) 優秀賞  
 固体地球班  
 五十嵐佑登〔27〕 沖 陸正〔25〕  
 川島 瑛斗〔25〕 鈴木 悠羅〔28〕  
 西垣 帆高〔26〕 内田 維葵〔16〕  
 高田 洋綺〔15〕 吉岡佑之助〔18〕

軽石班 優秀賞  
 川崎 琉菜〔27〕 鈴木 仁緒〔21〕  
 竹内 凌真〔14〕 樋川暁太郎〔16〕  
 大気班 優秀賞  
 金丸 颯汰〔26〕 長谷川喬亮〔26〕  
 名倉 彩芽〔21〕 孟 佳辰〔27〕  
 中野 克己〔25〕 田中琉偉守〔24〕  
 千野 来実〔12〕 戸倉 悠晴〔14〕  
 今田 響〔14〕

**生物**

☆全国高等学校総合文化祭 自然科学部門  
 T.L.C班  
 市川こはる〔27〕 長谷川帆風〔18〕  
 村上 陽菜〔12〕  
 ☆日本学生科学賞  
 共生班 入選3等(全国31位)41位相当 中央審査  
 共生班

熊岡 和真〔28〕 小林 英治〔14〕  
 鈴木 寛史〔14〕 福田 榛子〔18〕  
 ○静岡県学生科学賞  
 T.L.C班 県知事賞  
 市川こはる〔27〕 長谷川帆風〔18〕  
 村上 陽菜〔12〕 田中 純平〔17〕

**囲碁**

○生徒理科発表会(県大会)  
 共生班 最優秀賞  
 熊岡 和真〔28〕 小林 英治〔14〕  
 鈴木 寛史〔14〕 福田 桃子〔18〕  
 熊岡 和真〔28〕 小林 英治〔14〕  
 鈴木 寛史〔14〕 福田 桃子〔18〕

○囲碁選手権大会(西部大会)  
 男子団体 2回戦 0-3 清水東  
 男子個人 鎌田 晃成〔26〕 白倉 世煌〔25〕  
 高橋 壮太〔27〕 出場  
 女子個人 中塚 萌世〔26〕 杉山 実来〔21〕

○閉巻選手権大会(西部大会)  
 男子団体 1回戦 2-1 加藤学園  
 男子個人 鎌田 晃成〔26〕 白倉 世煌〔25〕  
 高橋 壮太〔27〕 出場  
 女子個人 中塚 萌世〔26〕 杉山 実来〔21〕

○高校総合文化祭(西部大会)  
 男子団体 鎌田 晃成〔26〕 白倉 世煌〔25〕  
 男子個人 鎌田 晃成〔26〕 白倉 世煌〔25〕  
 高橋 壮太〔27〕 出場  
 女子個人 中塚 萌世〔26〕 杉山 実来〔21〕

○高校総合文化祭(県大会)  
 男子個人 鎌田 晃成〔26〕 白倉 世煌〔25〕  
 Aクラス 高橋 壮太〔27〕  
 Bクラス 中村 匠吾〔21〕 佐野 湿季〔25〕  
 益子 優字〔24〕

○新人戦(県大会)  
 男子団体 1回戦 3-0 富士見  
 女子団体 磐田南B  
 竹田 匠吾〔21〕 佐藤 大〔27〕 4位  
 男子個人 久野 杏太〔11〕 坂部 〔23〕 3位  
 Aチーム 久野 杏太〔11〕 坂部 〔23〕 3位  
 Bチーム 野口 大翔〔21〕 3勝2敗  
 河上 雅広〔23〕 優勝  
 浅井 駿人〔27〕 県大会決定戦で敗退 準優勝

**将棋**

高校将棋選手権大会(西部大会)  
 男子団体 久野 杏太〔11〕 坂部 〔23〕 3位  
 Aチーム 久野 杏太〔11〕 坂部 〔23〕 3位  
 Bチーム 野口 大翔〔21〕 3勝2敗  
 河上 雅広〔23〕 優勝  
 浅井 駿人〔27〕 県大会決定戦で敗退 準優勝

○高校将棋選手権大会(県大会)  
 男子団体 1回戦 1-2 藤枝明誠  
 男子個人 久野 杏太〔11〕 坂部 〔23〕 3位  
 女子個人 大石 彩乃〔27〕 5位  
 新人戦(西部大会)  
 男子団体 久野 杏太〔11〕 坂部 〔23〕 3位  
 Aチーム 久野 杏太〔11〕 坂部 〔23〕 3位  
 Bチーム 野口 大翔〔21〕 3勝2敗  
 河上 雅広〔23〕 優勝  
 浅井 駿人〔27〕 県大会決定戦で敗退 準優勝

○新人戦(県大会)  
 男子団体 1回戦 3-0 富士見  
 女子団体 磐田南B  
 竹田 匠吾〔21〕 佐藤 大〔27〕 4位  
 男子個人 久野 杏太〔11〕 坂部 〔23〕 3位  
 Aチーム 久野 杏太〔11〕 坂部 〔23〕 3位  
 Bチーム 野口 大翔〔21〕 3勝2敗  
 河上 雅広〔23〕 優勝  
 浅井 駿人〔27〕 県大会決定戦で敗退 準優勝

○高校将棋選手権大会(西部大会)  
 男子団体 久野 杏太〔11〕 坂部 〔23〕 3位  
 Aチーム 久野 杏太〔11〕 坂部 〔23〕 3位  
 Bチーム 野口 大翔〔21〕 3勝2敗  
 河上 雅広〔23〕 優勝  
 浅井 駿人〔27〕 県大会決定戦で敗退 準優勝

○高校将棋選手権大会(県大会)  
 男子団体 1回戦 1-2 藤枝明誠  
 男子個人 久野 杏太〔11〕 坂部 〔23〕 3位  
 女子個人 大石 彩乃〔27〕 5位  
 新人戦(西部大会)  
 男子団体 久野 杏太〔11〕 坂部 〔23〕 3位  
 Aチーム 久野 杏太〔11〕 坂部 〔23〕 3位  
 Bチーム 野口 大翔〔21〕 3勝2敗  
 河上 雅広〔23〕 優勝  
 浅井 駿人〔27〕 県大会決定戦で敗退 準優勝

○新人戦(県大会)  
 男子団体 1回戦 3-0 富士見  
 女子団体 磐田南B  
 竹田 匠吾〔21〕 佐藤 大〔27〕 4位  
 男子個人 久野 杏太〔11〕 坂部 〔23〕 3位  
 Aチーム 久野 杏太〔11〕 坂部 〔23〕 3位  
 Bチーム 野口 大翔〔21〕 3勝2敗  
 河上 雅広〔23〕 優勝  
 浅井 駿人〔27〕 県大会決定戦で敗退 準優勝

久野 杏太〔11〕 5位  
 女子個人 大石 彩乃〔27〕 5位

**科学技術**

○情報オリンピック 一次予選通過、二次予選参加  
 鈴木 誠治〔11〕 原田 龍弥〔11〕  
 足立 比呂〔15〕 夏目琉太郎〔18〕  
 飯田 悠生〔24〕 平野 央暉〔25〕  
 HSPプログラムコンテスト2023  
 飯田 悠生〔24〕 「蜘蛛の糸」 学生賞  
 平野 央暉〔25〕 「直進迷路」  
 生徒理科発表会(西部大会)  
 原田 龍弥〔11〕 夏目琉太郎〔18〕 出場

**弦楽合奏**

県高等学校総合文化祭第27回演奏会  
 管弦楽・器楽部門

**その他**

☆全国定期演奏会  
 女子レジャーラジアル競技  
 フェンシング競技  
 女子エペ  
 ヨット競技  
 女子レジャーラジアル競技  
 出口 美帆〔25〕 準優勝  
 出口 美帆〔25〕 5位  
 出口 美帆〔25〕 出場

**公演のお知らせ**

吹奏楽部 第54回定期演奏会  
 3月22日(金)  
 磐田市民文化会館かたりあ  
 18:00開演  
 弦楽合奏部 第31回定期演奏会  
 3月17日(日) 13:30開演  
 掛川市美惑ホール  
 演劇部 第22回磐田市高等学校演劇祭  
 3月23日(土)  
 ワークピア磐田  
 午後2回公演  
 (1) 14:00 (2) 17:00